

藝大21演奏藝術センター  
企画公演〈和楽の美〉  
藝大フレンズ賛助金助成事業

邦楽絵巻

# 弁財天縁起



【脚本・演出】織田紘二 【音楽監督・制作統括】萩岡松韻 【副音楽監督】小島直文 【美術監修・制作】藪内佐斗司

【特別出演】竹本駒之助(義太夫) 杵屋佐吉(豪絃) 信貴山真言宗 鈴木貴晶管長と信貴山僧侶(声明)

佐々木典子(ソプラノ) 平成伎楽団

※スケジュール、曲目、出演者等は都合により変更になる場合があります

2013年 10月9日(水)18:30開演 (18:00開場) 東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)  
入場料/全席指定 S席5,000円 A席4,000円 ※未就学児の入場はできませんのでご了承ください

【チケット取り扱い】  
●ヴォートル・チケットセンター 03-5355-1280 <http://ticket.votre.co.jp/> ●藝大アートプラザ 050-5525-2102  
●チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 205-777) <http://t.pia.jp/> ※一部携帯電話・PHS・IP電話はご利用いただくことができません。  
●東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp/ticket/> ●イープラス(e+) <http://eplus.jp/>

【お問い合わせ】 ●東京藝術大学演奏藝術センター 050-5525-2300 ●東京藝術大学ホームページ <http://www.geidai.ac.jp/>

主催：東京藝術大学演奏藝術センター 東京藝術大学音楽学部・美術学部/協力：藪内佐斗司工房 青山美術株式会社 平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



# 演出のこと

織田 紘二

(演出家・日本芸術文化振興会顧問)

萩岡主任教授の突然のお電話についてお引き受けはしたものの、実はいまだに自分の立ち位置が解ってない。東京藝術大学の邦楽部門の発表会なのは理解しているつもりなのだが、会の中で何を求められているのかがいまいち分かっていないのだ。ともかく巳年の今年のテーマは「へび」と水の神でもある「弁財天」であり、水と龍神からの連想で「鯉」を引っ張り出した。鯉魚の一軸から飛び出した鯉の道行から滝昇りに挑み、ついに夫婦の鯉は龍に変身し、弁財天に救われて龍神になる、という話を纏めて義太夫・長唄・箏曲(山田流)の歌詞を書いた。六六魚(鯉)変じて九九鱗(龍)になるという中国の古い故事から、日本では稽古事の始まりを六才の六月六日とするのであるが、それも学びの舎には相応しかろうと思ってのことであり、昇る鯉の譬えは「登龍門」に通じている。これも邦楽科の発表会に相応しいと考えた。初演の演奏を楽しみにしているが、ともかくこれから準備にかかるので、何がどうなるのか、楽しみであり不安でもある。(平成25年7月記)

# 「弁財天縁起」によせて

藪内 佐斗司

(東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学教授)

ヒンドゥー教の女神・サラスバティーに起源をもつ弁財天(辨財天、弁才天とも)は、日本人にとっても愛されてきた神さまだ。もともとが「聖なる河」という意味のその名は、水や龍とも深い関連がある。諸芸成就と豊穰をもたらしてくれる美しき女神は、市杵嶋姫や蛇神である宇賀神とも習合し、また七福神のアイドルとして、多くの伝統芸能にも取り上げられてきた。

さてこのとらえどころのない魅惑の女神を、舞台上でどのように表現できるか、舞台美術担当として例年にもまして大いに創作意欲を掻きたてられた。今年は、平成伎楽団だけでなく、映像まで仰せつかったので、なおさらのことだ。

水は、限りない恩恵と、ときには恐ろしい災厄をもたらす。それを調伏する弁財天の力を、和楽の調べと渾然一体に表現しようと思う。今回で四回目の美術担当だが、いままで以上にご来場のみなさまに楽しんで頂けるよう、出演者、関係者とともに心を込めた舞台を創りあげたい。

邦楽絵巻

# 弁財天縁起

藝大21演奏藝術センター企画公演(和楽の美) 藝大フレンズ賛助金助成事業

〔作曲〕 小島直文 鶴澤三寿々 徳丸裕二 萩岡松韻  
藤原圭太 松下 功(五十音順)

〔作詞〕 盧 慶順 吉田善男 西川浩平

〔振付〕 露木雅弥 堀之内真平(平成伎楽団)

〔出演〕 小島直文(長唄三味線)

味見 純(長唄)

吉川さとみ(箏曲生田流)

萩岡松韻(箏曲山田流)

関根知孝(能楽観世流)

武田孝史(能楽宝生流)

盧 慶順(邦楽囃子)

露木雅弥(日本舞踊)

東京藝術大学音楽学部

邦楽科&器楽科教員・学生ほか

〔特別出演〕 竹本駒之助(義太夫) 杵屋佐吉(豪絃)

信貴山真言宗管長 総本山朝護孫子寺法主

鈴木貴品管長と信貴山僧侶(声明)

佐々木典子(ソプラノ) 平成伎楽団

〔美術制作〕 東京藝術大学大学院美術研究科

文化財保存学保存修復彫刻研究室

〔映像制作〕 山田 修 小島久典 鈴木博雄

〔照明〕 明 古賀裕一郎

〔舞台監督〕 増田 一雄

〔音響〕 響 岩崎 真

〔映像収録〕 竹岡智行

〔制作統括〕 萩岡松韻

〔制作統括補〕 太田暁子

※スケジュール、曲目、出演者等は、都合により変更となる場合もありますのでご了承ください。



【所在地】東京都台東区上野公園12-8 〒110-8714

【お問い合わせ】東京藝術大学演奏藝術センター

050-5525-2300 <http://www.geidai.ac.jp/>

【交通案内】

JR上野駅・鶯谷駅、東京メトロ千代田線根津駅より

徒歩10分

京成線上野駅、東京メトロ日比谷線上野駅・銀座線上野駅より

徒歩15分

台東区循環バス「東西めぐりん」

②上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由) ⑤-1東京芸術大学下車[30分間隔]

※駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください